

1～4年次後期・選択

2単位・30時間

【概要・目的】

本科目は、生活の中で普通に生じうる法的問題を取りあげて法を身近に考え、日本国憲法を中心とする法の理解とそのために必要な基本的事項を習得し、権利の重要性を理解するとともに、法的思考力を身につけることを目的とする。

日本国憲法を中心とする法を、社会統制のひとつとして生きた社会の関連の中でとらえる。そのために、法を抽象的ではなく、具体的な問題に則して重点的に把握し、法学を孤立した体系ではなく、他の社会科学と関連させて理解する。

【到達目標】

- 1) 法の役割、法の基本的理念を説明することができる。
 - 2) 人権について基本的理念を説明することができる。
 - 3) 人権の重要性と人権を守るための仕組みを説明することができる。
 - 4) 国の統治機構について基本的理念を説明することができる。
 - 5) 多様な価値観を理解し、法的思考をすることができる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 法を学ぶ意義
 - 2) 日本国憲法の基礎、人権総論
 - 3) 幸福追求権
自己決定権とインフォームド・コンセント、ノーマライゼーション、個人情報の保護
 - 4) 法の下での平等、婚姻制度と憲法、相続制度と憲法
 - 5) 思想・良心の自由、学問の自由、信教の自由と政教分離
 - 6) 表現の自由
 - 7) 経済的自由
 - 8) 人身の自由（1）
罪刑法定主義、犯罪と法、医師・薬剤師・助産師・看護師・保健師の守秘義務、医療と刑法
 - 9) 人身の自由（2）
 - 10) 社会権
生存権、教育を受ける権利、労働基本権
 - 11) 選挙と参政権、国会
 - 12) 内閣
 - 13) 裁判所、訴訟の仕組み（医療訴訟を題材に）
 - 14) 地方自治
 - 15) 授業のまとめ
-

【評価】

期末試験（筆答）100%により評価する。ただし、原則として、授業を受講した上でその後に提出する課題を3分の2以上提出した者でなければ、期末試験を受けることはできない。

【教科書】

『プレステップ憲法〈第3版〉』、駒村圭吾編、弘文堂
『憲法判例集〔第12版〕』、渋谷秀樹編著、有斐閣
『法学六法 '23』、編集代表池田真朗ほか、信山社
3冊とも、開講時点での最新版を使用します。

【推薦参考図書】

講義の中で紹介します。

【その他】

- ・毎回の授業に先立ち、関係条文を確認しながら、指定された授業範囲の教科書及び配布資料を読んで予習をしておくこと。また、授業終了後に、授業で学んだことを踏まえ再度授業範囲の教科書及び配布資料を読み、関連事項を確認するなどして復習を行うこと。
- ・教科書欄に記載した3冊を授業に必ず持参すること。